



2024年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月14日

上場会社名 株式会社Macbee Planet 上場取引所 東
 コード番号 7095 URL https://macbee-planet.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 千葉知裕
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 川上昂士 (TEL) 03(3406)8858
 四半期報告書提出予定日 2023年12月14日 配当支払開始予定日 2023年12月22日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の連結業績(2023年5月1日~2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	19,115	115.4	2,010	118.0	1,998	115.6	1,349	118.0
2023年4月期第2四半期	8,875	20.0	921	44.4	927	45.6	619	52.1

(注) 包括利益 2024年4月期第2四半期 1,342百万円(62.2%) 2023年4月期第2四半期 827百万円(104.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	377.80	366.78
2023年4月期第2四半期	190.95	183.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第2四半期	19,642	10,090	51.0
2023年4月期	17,519	8,167	46.2

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 10,020百万円 2023年4月期 8,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年4月期	—	56.00			
2024年4月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年4月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 56円00銭 特別配当 —

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	88.9	3,700	71.1	3,650	73.1	2,400	53.1	669.57

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 業績予想の修正については、本日(2023年12月14日)公表いたしました「2024年4月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年4月期2Q	3,596,068株	2023年4月期	3,525,568株
2024年4月期2Q	172株	2023年4月期	83株
2024年4月期2Q	3,573,046株	2023年4月期2Q	3,242,697株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は業績予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tにて同日に開示しております。また、当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュフローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化、原材料価格の高騰及び円安の進行等により依然として不透明な状況が続いておりますが、各種政策の効果や経済活動の段階的な再開に伴って、持ち直しの動きが続くことが期待されております。

当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場におきましては、世界全体としてDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の波が押し寄せ、本格的なデジタル時代が到来しようとしており、インターネット広告市場は2022年に前年比14.3%増の3兆912億円（*）となりました。世界的にもオフライン媒体と比較してデジタル媒体費の費用効率が良いこともあり、全広告費の約半分を占める傾向にあり、わが国においてもその形に移行しつつあり、当社グループにとって追い風となっております。

* 株式会社電通「2022年日本の広告費」より

こうした環境のもと、当社グループは、インターネット広告をより進化させたLTVマーケティングを提唱し、独自のテクノロジーの開発に力を入れ、事業拡大に向けた取り組みを進め、当社グループの経営成績は次の通りとなりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高19,115百万円（前年同期比115.4%増）、営業利益2,010百万円（前年同期比118.0%増）、経常利益1,998百万円（前年同期比115.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,349百万円（前年同期比118.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（LTVマーケティング事業）

当セグメントにおきましては、前連結会計年度末に新規連結した株式会社ネットマーケティングの業績寄与や既存案件の拡大、新規案件の受注が堅調に推移したことに加え、独自のデータ取得技術を活用した施策が奏功した結果、売上高は19,014百万円（前年同期比115.7%増）、セグメント利益は2,892百万円（前年同期比113.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,122百万円増加し、19,642百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が939百万円、投資有価証券が473百万円、短期貸付金が850百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して199百万円増加し、9,551百万円となりました。その主な要因は、短期借入金306百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が239百万円減少した一方で買掛金が766百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,923百万円増加し、10,090百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,349百万円計上したこと及び第三者割当増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ291百万円増加したことによるものです。

(3) キャッシュフローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、9,451百万円となり、前連結会計年度末残高に比べ211百万円減少いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,630百万円となりました（前年同期は648百万円の収入）。その主な内訳は、売上債権の増加額939百万円、法人税等の支払額553百万円があった一方で、仕入債務の増加額766百万円、税金等調整前四半期純利益1,973百万円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1,871百万円となりました（前年同期は297百万円の支出）。その主な内訳は、投資有価証券の取得による支出509百万円、貸付による支出850百万円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、29百万円となりました（前年同期は82百万円の収入）。その主な内訳は、株式の発行による収入577百万円があった一方で、短期借入金の純減額306百万円、長期借入金の返済による支出239百万円あったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績予想につきましては、2023年6月13日の「2023年4月期 決算短信」で公表した通期の業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日（2023年12月14日）公表いたしました「2024年4月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,663	9,451
受取手形及び売掛金	3,808	4,748
その他	420	1,194
貸倒引当金	△14	△136
流動資産合計	13,877	15,258
固定資産		
有形固定資産	100	91
無形固定資産		
のれん	2,862	2,650
その他	50	39
無形固定資産合計	2,913	2,689
投資その他の資産		
投資有価証券	258	731
その他	370	870
投資その他の資産合計	628	1,602
固定資産合計	3,642	4,383
資産合計	17,519	19,642
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,897	4,664
短期借入金	1,682	1,375
1年内返済予定の長期借入金	450	427
未払法人税等	258	651
賞与引当金	18	-
その他	1,102	707
流動負債合計	7,409	7,824
固定負債		
長期借入金	1,942	1,727
固定負債合計	1,942	1,727
負債合計	9,352	9,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,631
資本剰余金	2,331	2,622
利益剰余金	3,425	4,775
自己株式	△0	△2
株主資本合計	8,097	10,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△7
その他の包括利益累計額合計	—	△7
新株予約権	0	0
非支配株主持分	69	69
純資産合計	8,167	10,090
負債純資産合計	17,519	19,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
売上高	8,875	19,115
売上原価	7,065	15,328
売上総利益	1,809	3,786
販売費及び一般管理費	887	1,776
営業利益	921	2,010
営業外収益		
受取利息	0	8
受取配当金	7	-
その他	1	1
営業外収益合計	8	9
営業外費用		
支払利息	3	14
株式交付費	-	5
その他	-	1
営業外費用合計	3	21
経常利益	927	1,998
特別損失		
投資有価証券評価損	-	24
特別損失合計	-	24
税金等調整前四半期純利益	927	1,973
法人税等	314	623
四半期純利益	612	1,350
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	619	1,349

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	612	1,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	△7
その他の包括利益合計	215	△7
四半期包括利益	827	1,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	834	1,341
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	927	1,973
減価償却費	16	24
のれん償却額	83	212
株式報酬費用	-	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	△18
受取利息及び受取配当金	△7	△8
支払利息	3	14
株式交付費	-	5
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△289	△939
仕入債務の増減額 (△は減少)	208	766
その他	△11	△221
小計	939	1,962
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	△3	△14
法人税等の還付額	-	226
法人税等の支払額	△295	△553
営業活動によるキャッシュ・フロー	648	1,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5	△7
投資有価証券の取得による支出	△293	△509
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△1
敷金及び保証金の回収による収入	1	80
貸付けによる支出	-	△850
その他の支出	-	△583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297	△1,871
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	△306
長期借入金の返済による支出	△118	△239
株式の発行による収入	0	577
自己株式の取得による支出	-	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	82	29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	432	△211
現金及び現金同等物の期首残高	2,097	9,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,530	9,451

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	L T V マーケティング事業			
売上高				
成果報酬	8,701	4	—	8,706
固定報酬	113	55	—	168
顧客との契約から生じる収益	8,814	60	—	8,875
外部顧客への売上高	8,814	60	—	8,875
計	8,814	60	—	8,875
セグメント利益又は損失(△)	1,394	△22	△449	921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DXソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	LTV マーケティング事業			
売上高				
成果報酬	18,276	12	—	18,289
固定報酬	737	88	—	825
顧客との契約から生じる収益	19,014	101	—	19,115
外部顧客への売上高	19,014	101	—	19,115
計	19,014	101	—	19,115
セグメント利益又は損失(△)	2,892	18	△ 900	2,010

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DXソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は2023年3月に株式会社ネットマーケティングの発行済み株式すべてを取得し、2023年4月期末をみなし取得日として連結範囲に含め、加えて11月には持株会社体制に移行しております。これを機に、当社グループの事業活動や経営環境を最も適切に反映するため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を見直し、従来の「アナリティクスコンサルティング事業」「マーケティングテクノロジー事業」から、「LTVマーケティング事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。